

## 神学とは？

神学とは、ギリシア語でテオロギアといいます。神（テオス）についての学問（ロゴス）という意味です。あらゆる学の中で、もっとも古い歴史を持ち、私たちと世界を創造し、御子イエス・キリストを救いのために遣わされた神について学ぶ学問です。世界を超えた御方である神を、私たちの言葉で説明する不断の訓練が、日々なされます。

聖書の成立を知り、解釈を学ぶ

### 聖書神学



#### ●聖書に、何が伝えられているのか

聖書学 聖書神学とは、私たちの礼拝の中で朗読される聖書に、何が伝えられているかを解明する学問です。説教は、教会によってたてられた説教者が、聖書に基づいて語るときに、神の言葉として聞かれます。説教者が自分の思いを語るのではなく、聖書が証するキリスト御自ら語ってくださいます。

#### ●勝手な読みこみを批判し、吟味する学問

しかしどのようにして、説教者の勝手な読み込みと、聖書それ自身が聖霊によって証言する主の御心を聞き分けることができるのでしょうか。聖書学/聖書神学は、聖書のテキストを、それらが語られた歴史の中に戻し、本来どのような歴史の中で、何を告げようとしたものなのかを解明します。またそのテキストが、どのように伝えられ、解釈されてきたかを学びます。それによって、私たちの読みを批判し、吟味するのです。学んだ人は、聖書の成立や伝承の歴史を知り、釈義の手法を身につけ、語学、文献学、文学、歴史学、考古学といった財産を得ることになります。

神の真理を総合的に明らかにし、神讚美へと至る

### 組織神学



#### ●教義学を中心に、倫理学、弁証学の三分野から成る

組織神学は、神の恵みの真理を現代の文脈の中で深く探究し、責任的に証言しようとしています。「教義学」は、神の啓示を証言する聖書に基づき、父・子・聖霊なる三位一体の神とその御業を、体系的に考察します。「倫理学」は、キリスト者と教会が具体的な生活の場で、どう考え、行動すべきかを考察します。そして、「弁証学」は、現代社会にあってキリスト教に向けられるさまざまな疑問に対して、福音の真理性を明証しようとするものです。

#### ●教会とキリスト者を支えて、神を讚美する

神学は人間の業ですから、どれも完全・絶対ではありません。常に「より深く、より明らかに」と、祈りをもって取り組まれるものです。そして、今の世に対して、「世の光」である神の真理を伝え、教会とキリスト者の信仰を支え、神を讚美します。祈りに支えられた理性的探究が神讚美に至る。それが組織神学の魅力です。



岩に彫られた  
キリスト教のモノグラム

2000年の諸教会の歴史を学ぶ

## 歴史神学



### ●歴史神学 / 教会史とは

歴史神学/教会史とは、歴史学という学問的ファインダーを覗き、いわば2000年にわたり世界史道路を走行してきたキリスト諸教会バスの信仰的活動の歩みと、それらの信仰・実践の総資産を撮影し点検する学問です。「歴史神学」は、主に教会バスの燃料にあたる福音理解などの神学思想史、「教会史」は、バスの車体にあたる礼拝と祭儀、教会制度や組織的發展に注目します。それらの研究によって、現代教会の今後の形成のために具体的な諸指針を学ぶためです。

### ●古代から宗教改革を経て現代まで

学部では、古代から現代日本までの教会の歩みを辿る教会史Ⅰ～Ⅴ、教理史（選択）、世界と日本の宗教史、ラテン語（選択）などを学びます。大学院では、古代から現代までの欧米、日本の教会の教理史、神学思想史、霊的生活史などの科目が開講され、学部での学びが更に深められるようコースが用意されています。

## 神学する

神学は“学ぶ”だけでなく“神学する”もの。その本質は、講義や実習・独習に限らず、寝食を含む生活場面すべてにおいて神の真理を追究し、ときに情熱的に、あるいは理論的に日々格闘するように神学に励むことを意味します。

福音伝道の実際と結びつけて学ぶ

## 実践神学



### ●神の実践に参加するために

実践神学のルーツは、「牧者の学」「司牧学」にあります。しかし、「牧師の実践」にまさって、「神の実践」すなわち「神の救済行動」が主題ですから、今日では「実践神学」と呼んでいます。牧師の務めは、神の実践に参加させていただくことです。神の救済行動の中で、人間が神の道具として用いられるために「説教学」「礼拝学」「牧会学」「キリスト教教育学」の学びが必要になります。

### ●神学諸科を統合する課題も

そもそも神学全体が生きておられる神を神として崇め、神の実践にお仕えるためにあります。教会やキリスト教学校での働きには、神学的な知識、能力を総動員することになります。そのため実践神学には、神学諸科を統合して、教会や学校での実践に結びつけるという課題もあります。